

# 令和元年度 第1回 諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議 会議録

## ○ 日 時

令和元年 11 月 26 日（火）午後 2 時～3 時 30 分

## ○ 会 場

諏訪市役所 大会議室

## ○ 出席者

<本部長>

金子市長

<副本部長>

渡辺副市長

<本部員>

木島企画部長、花岡市民部長、関健康福祉部長、大館経済部長、

小松建設部長、後藤教育次長、前澤議会事務局長

<幹事>

松木総務課長、池上秘書広報課長、寺島企画政策課長、茅野財政課長、

柿澤地域戦略・男女共同参画課長、守屋こども課長、金子商工課長、細野観光課長、

金子都市計画課長

<事務局>

中澤企画政策係長、茅野企画政策係主任、西澤企画政策係主任

## ○ 会議結果

- ・諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果（案）、時点修正（案）、改訂（案）について承認を受けた。

## ○ 会議概要

### 1 開会

#### （木島企画部長）

- ・第1回諏訪市まち・ひと・しごと創生本部会議を開催する。
- ・会議開催に先立ち、本部長である金子市長より挨拶がある。

### 2 本部長挨拶

#### （金子市長）

- ・令和元年度第1回の「まち・ひと・しごと創生本部会議」を開催する。平成27年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定してから4年目を迎えている。各部局において、総合戦略に基づき地方創生に向けた様々な取組を展開している。
- ・今年度は現総合戦略の最終年度となるが、令和4年を計画初年度とする第六次諏訪市総合

計画に総合戦略を統合するまでの2年間、現総合戦略を時点修正で延長することになっている。

- ・総合戦略にはKPI（重要業績評価指標）を設定しており、施策の進行管理、効果検証を行うこととしている。本日の会議では、各部局が提出した総合戦略の効果検証結果を確認、調整させていただく。その上で、12月6日に開催する「まち・ひと・しごと創生有識者会議」において、外部有識者の皆さんから効果検証に当たりご意見を伺う予定である。
- ・今後の市の地方創生推進に当たり、それぞれの視点から積極的なご意見をいただきたい。

### 3 議事

#### (1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証結果について

##### (本部長)

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証・時点修正・改訂について」、「①効果検証について」「②時点修正について」、事務局より説明する。

##### (事務局)

※資料No.1、No.2に基づき説明

##### (本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

##### (本部長)

- ・続いて、「③総合戦略効果検証結果（案）」について、事務局より説明する。

##### (事務局)

※資料No.3に基づき、効果検証結果（案）の概要について説明

##### (事務局)

※資料No.3に基づき、一之柱の効果検証について説明

##### (本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

##### (本部長)

- ・続いて、二之柱について、事務局より説明する。

##### (事務局)

※資料No.3に基づき、二之柱の効果検証について説明

##### (本部長)

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。
- ・「移住・定住サポートサイトへのアクセス件数」がこの1年で大幅に減少している。原因について説明をお願いしたい。

##### (幹事)

- ・今までのカウントと計算式が変わったという話を聞いている。アクセス数の取扱いについ

ては今後検討していく必要があると考えている。

**(本部長)**

- ・十分の一に減少していることから注視してもらいたい。

**(本部長)**

- ・続いて、三之柱について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料No.3に基づき、三之柱の効果検証について説明

**(本部長)**

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

**(本部長)**

- ・出生数が減っており 400 人を割っている状況にある。これは非常に危機的な状況。今後介護を担うこととなる人が減っているということになる。また、結婚せず単身でいると将来の介護について、家族の介護を受けることができず介護の費用が増えるという問題も出てくる。結婚に関する問題は、将来の介護にも関連あることをお知らせしたい。

**(本部長)**

- ・出生数の KPI は累計でよいのか。単年数値にしたほうがよいのか。

**(本部長)**

- ・出生数の KPI は累計で良いと思うが、三之柱の結果から、危機感を持たないといけない。

**(本部長)**

- ・続いて、四之柱について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料No.3に基づき、四之柱の効果検証について説明

**(本部長)**

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

(意見等なし)

**(本部長)**

- ・「③総合戦略効果検証結果（案）」全体を通じて、質問・意見をお伺いしたい。

**(副本部長)**

- ・「小中学校の不登校児童・生徒の割合」について、「努力が必要」となっているが、今は不登校が悪いことではないという考えもある。サードプレイスで対応していくという考えもあるが、一方では学校には登校してもらいたいという考えもある。これについて教育委員会としての考え方をお聞きしたい。

**(本部長)**

- ・大きな世の中の流れとして、不登校は問題行動ではないということは、どの自治体でも共通認識として持っている。一方、学校の現場としては、学校に来てもらいたいという思いで日々奮闘していただいている。そういうことから、不登校の割合を少なくしていこうと

いう教育委員会の姿勢は間違っていないと思っている。ただ、不登校児を支援する団体などでは、そもそも学校に行かなくてはいけないわけでもないという意見を持っている方もいる。そんな現状ではあるが、現総合戦略では当初からこの項目を KPI としているので、現状はこの KPI を採用したい。

**(本部長)**

- ・不登校により家に引きこもってしまう状況は避けなくてはいけない。目標として持つべきものの考え方を検討しなくてはいけない。

**(本部長)**

- ・教育委員会としては、中間教室を持っているが、不登校児の保護者からはそれぞれの子どもに応じた場所が必要との意見が多い。それぞれの子どもに応じたということになると、ハード面ソフト面ともに民間の力を借りることになる。それをどのようにサポートできるか、不登校児に案内ができるかという仕組み作りが行政にできることだと思っている。

**(本部長)**

- ・続いて、「④総合戦略時点修正（案）」について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料No.4に基づき、時点修正（案）について説明

**(本部長)**

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

**(本部長)**

- ・担当部局からとなるが「小児夜間急病センター利用者数」「在宅当番医の利用者数」について、患者数を目標値とすることに違和感を感じる。

**(本部長)**

- ・健康面で考えると病気にかからないほうがよい。

**(本部長)**

- ・日赤への集中緩和をするために必要な項目。市民に対してかかりつけ医に行くなど周知が進めば患者数も指標になると思う。

**(本部長)**

- ・日赤の救急患者数を指標とする考えもあるかと思うが、今回のように考え方を確認して定めていくのであれば今の KPI でも問題ないと思う。

**(本部長)**

- ・大事なことは KPI を設定した根拠を理解していかないといけないということ。

**(本部長)**

- ・目標値を上方修正することはいいと思うが、下方修正をするときに現状に合わせて修正するということをすると、何の取組もせずに目標値を達成できなかったから下方修正をすることもできてしまう。下げるのであれば、現状に合わせてではない、明確な理由がないと有識者も納得できないと思われる。

**(本部長)**

- ・担当課の考えもあるかと思うが、基本的には先ほどの意見が正しいと思う。目標を達成で

きなかったから現状に合わせたという理由は、説明にならないと思う。下方修正をする明確な理由がない場合、下げるべきではない。

**(本部長)**

- ・ここで2年間計画が延長されることから、その2年間で効果を上げていくという姿勢が必要だと思う。合理的な理由があれば良いと思うがいかがか。

**(本部長)**

- ・総合戦略は策定してから5年ほど経過しているが、博物館業界については全国的な入館者数の落ち込みが激しいという側面がある。また、人々の嗜好が細分化され、一度で多くの方が参加する、いわゆるビックヒットするイベントというものが難しくなっている。そこで小規模なイベントを数多くやるということがここ数年の手法である。数を競うという視点は現場としては限界に近い。そういった意味で、あと2年間達成が難しい目標を設定することには反対である。ここ3~4年でこのような数字を設定する状況ではなくなってきていると感じている。

**(本部長)**

- ・人口の減少による事情もあると思う。数字を設定する状況ではないという状況であれば、今後大きく改めるときには項目自体を考えていく必要があると感じる。

**(本部長)**

- ・「すわっこランド入館者数」について下方修正しているが、担当から相談があった段階で、この31万人が適正であるかを協議した。損益分岐点を考え指標を設定するべきところだが、指定管理制度を導入したこともあり、施設の適正人数と収益性を考えて下方修正した。ただ、当初目標のとおり高い目標を設定して、収益や快適性を担当課として考えていけばよいことから、この場で下方修正は取り下げ、現状の目標値を引き続き採用することとしたい。

**(本部長)**

- ・「駅前交流テラスすわっチャオ利用者数」は年間と加えたほうがわかりやすいので加えてほしい。

**(幹事)**

- ・KPIを総合計画の数字よりも下方修正するのは違和感がある。総合計画は市の根幹となる計画である。2年後に総合計画と総合戦略を統合するときに、数値を指標にすることがよいのか、別の指標を使うほうがよいのかを示したほうがよいという議論になるかと思うが、現在はこの指標を使った計画が動いていることから、下方修正することは後ろ向きであることから、この時点での下方修正は慎重に行うべきだと思う。項目を変えるのは、計画を作り直すとき等大きく変化のあるタイミングだと思う。

**(本部長)**

- ・下方修正している項目については、有識者会議前に再度見直しをすることとしたいが、広域で作成する計画に合わせて下方修正するものについてはどうすべきか。

**(本部長)**

- ・広域で取り組んでいるものについては、広域の計画に合わせて合わせるべきなので、広域の数字を使いたい。

**(本部長)**

- ・続いて、「⑤改訂箇所一覧」について、事務局より説明する。

**(事務局)**

※資料No.5に基づき説明

**(本部長)**

- ・ただいまの説明について、質問・意見をお伺いしたい。

**(本部長)**

- ・すわっちゃオ利用者数の把握はどのようにしているのか。

**(本部長)**

- ・入口が3か所あるが、それぞれにセンサーカウンターがついている。エレベーターは入場退場それぞれカウントされるのでそれを2で割り、エスカレーターでのカウントを足したものが数値となる。

**(本部長)**

- ・「(1) 諏訪市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証・時点修正・改訂について」、いただいた意見等に対して再度調整、修正し、12月6日開催の「まち・ひと・しごと創生有識者会議」の議題として、外部有識者の意見を伺いたいが、承認をいただきたい。

(拍手)

**(本部長)**

- ・承認いただいたことから、これを議題とする。
- ・2年後に新たな計画を策定することになるが、今回議論したことを事務局、担当部署内で共有いただきたい。

## 4 その他

**(木島企画部長)**

- ・事務局より説明する。

**(事務局)**

- ・本日の議事を受け、修正等あれば11月29日(金)までに企画政策課へ連絡いただきたい。

## 5 閉会

**(渡辺副市長)**

- ・効果検証で順調、おおむね順調となったものは8割を超えている。今までの取組の成果だと思う。ただ、個別の数字を見るとその理由を整理する必要があるかと思う。
- ・個別の項目について、共有して説明できることが重要。その意味では今回の会議は有意義な会議であった。共有できる内容があれば、共有していただきたい。
- ・数字だけが全てではなく、課題と対応をどう分析し、どのような施策を実施するかを検討するかが我々にとって必要な役目であるので、意識して事業を実施いただきたい。

(閉会 15時30分)